

屋 内 消 火 栓 操 法 の 部

湖 南 防 火 保 安 協 会

屋内消火栓操法の部

【訓練規定】

1 使用器具等

使用器具は、備え付けの屋内消火栓ボックスを使用する。
消防ホース、筒先は出場事業所で準備する。
使用消防ホースは、内径40mm長さ15mのものを2本使用する。
筒先ノズル口径は、13mmとする。

2 服 装

出場隊員の服装は、操法に適したもので長袖・長ズボン・手袋とし、袖は手袋をはめた状態で皮膚が見えない長さ、ズボン裾、靴下は皮膚が見えない状態であること。
手袋は、革手袋・軍手等指定しないが、皮膚が露出しないものとする。
靴は運動靴（安全靴可）とし、ヘルメットを着用すること。

3 操作要領

別に定める屋内消火栓操法要綱のとおりとする。

4 進行合図（赤旗）

出場準備	出場準備係は、「出場準備」と声を出して赤旗を下げる。
操作開始	スタート係のピストルの合図によりスタートする。
標的転倒	標的係は、標的が転倒したならば赤旗を下げる。
放水止め	標的係は、「放水止め」と声を出して赤旗を下げる。
排水完了	標的係は、1番員の前方で「排水止め」と声を出して赤旗を正面斜め前方に振る。
納 め	標的係は、「納め」と声を出して赤旗を下げる。

5 準 備

ボックス内にホースを納める際、進行をスムーズにするため、出場前に指定の箱にホースを折り畳み準備する。

【審査規定】

1 審査範囲

(1) 総合動作審査

出場隊の全体動作に係る、共同操作の不整一および操作の不確実な行動について審査する。(100点満点)

待機線上に整列した時点から「別れ」まで。

(2) 所要時分審査

基準タイム30秒とし、スターターのピストルの合図から、標的が転倒した(標的係が赤旗を下ろした)時までを計測する。なお、所要時分

(1秒につき1点)を総合動作審査点から減点する。

2 失格等

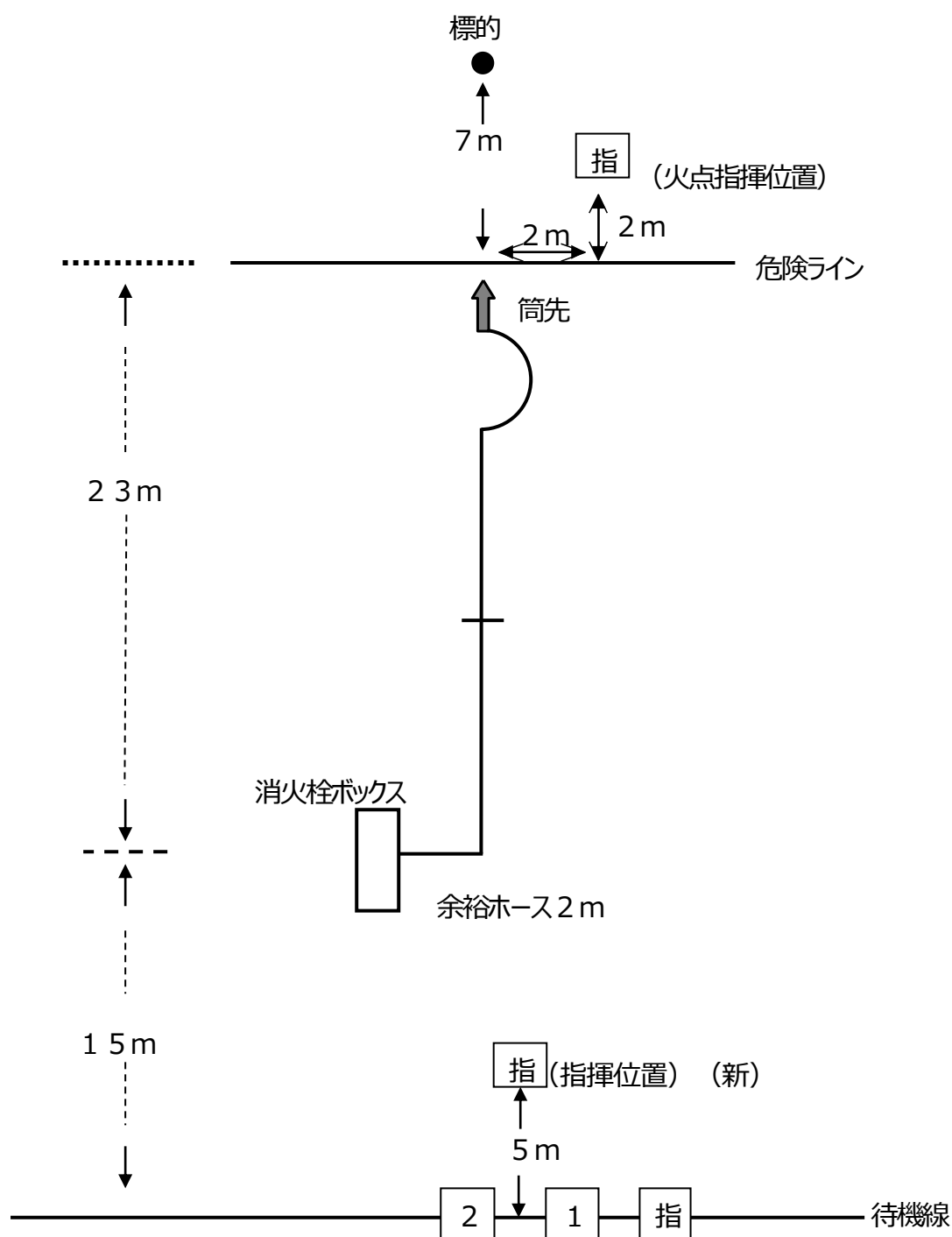
(1) 出場時に待機線に集合しない場合は、失格とする。

(2) 訓練実施中、出場者に不測の事故が発生し、訓練の続行が不可能と認められる場合は、審査長の判断により「中止」または「再訓練」を決定する。

3 順位の決定

総合動作審査の点数を持ち点とし、所要時分審査の減点数を減じて、持ち点70点以上で所要時分30秒未満のチームを入賞とする。また、その中から持ち点の多いチームを上位とする。同点数の場合、所要時分の速いチームを上位とする。

屋内消火栓操法全体図



屋内消火栓操法の部実施要領

	指 揮 者	1 番 員	2 番 員
待 機	係員の合図により待機線上の明示した位置に整列する。	係員の合図により待機線上の明示した位置に整列する。	係員の合図により待機線上の明示した位置に整列する。
ス タ ー ト	ピストルの合図の後、火点指揮位置に至り、火点を監視した後、隊員の活動が見える方向に向きを変え、隊員を監視する。	ピストルの合図の後、15メートル前方の消火栓ボックスまで至り、2番員と協力し、全てのホースを脇に抱えホース延長を行う。	ピストルの合図の後、15メートル前方の消火栓ボックスまで至り、1番員のホース延長操作を補助し消火ポンプ起動スイッチを入れ屋内消火栓ボックス前で不動の姿勢をとる。
放 水 始 め	1番員の注水姿勢を確認後、1番員の筒先補助を行う。 放水的中後、係員の合図により火点指揮位置に至り、標的の方向を向いて不動の姿勢をとる。	ホース延長中、ホース結合部が脇から落ちたら、2番員の方を振り向き「放水始め」と合図し、火点に至り5メートルの余裕ホースをとり注水姿勢をとる。 筒先を確実に保持し、標的に放水を的中させる。	1番員の「放水始め」の合図に対し右手を真上に上げて復唱の後、開閉バルブを全開し、放水が確実に行われていることを確認後、駆け足で1番員後方まで進み1番員の筒先補助を行う。
放 水 止 め	係員の赤旗の合図により、標的監視の姿勢から1番員の方向に向きを変え「放水止め」と号令し1番員が不動の姿勢をとった後、標的の方向に向きを変え不動の姿勢をとる。	指揮者の「放水止め」の号令に対し、「放水止め」と復唱し、2番員の「放水終わり」の合図で「よし」と呼称し、排水操作を行った後、係員の合図で左足を引き付け筒先を足元に立てて不動の姿勢をとる。	1番員の「放水止め」の復唱に対し、「よし」と呼称し、消火栓ボックス前に至り、開閉バルブを完全に閉め、確実に止まったことを確認後、駆け足で筒先補助位置に至り、不動の姿勢をとって「放水終わり」と呼称する。
収 納 ・ 解 散	係員の赤旗の合図により1番員の方向に向きを変え「納め」と号令し、指揮位置に至り、自身の服装点検を実施後、1・2番員の整列を確認した後に、「わかれ」と号令し、各隊員に挙手注目の敬礼で答礼する。	指揮者の「納め」の号令で筒先をその場に置き、2番員と共に駆け足で集合線に至り、服装点検後不動の姿勢をとり、指揮者の「わかれ」の号令で指揮者の方向に向いて挙手注目の敬礼を行い解散する。 ※方向転換しなくても良い	指揮者の「納め」の号令で1番員と共に駆け足で集合線に至り、服装点検後、不動の姿勢をとり指揮者の「わかれ」の号令で指揮者の方向に向いて挙手注目の敬礼を行い解散する。 ※方向転換しなくても良い

- ①ホースの落下については、ホース1本分を落とせば落下として減点（審査表「要領遵守度」1回2点減点）
 ②落下させたまま延長すればひきずりとして減点（審査表「要領遵守度」1本につき1回2点減点）
 ※ホースの延長時、ホース結合部が脇から落ちた後の「放水始め」の号令は走りながらしても良い
 ※ホースの延長は、脇に抱えて延長するようになっているが、落とさなければどんな搬送方法でも減点としない

屋内消火栓操法の部総合動作審査表 (男子・男女混成)

(組 コース)

隊 名		氏 審 名 査 員		点 数		検 査 員	
--------	--	-----------------	--	--------	--	-------------	--

項 目	A	B	項目合計 (A+B)
規 律 ・ 節 度 (動作の不整一)	適・否	2 0	(A) 否なら-5
敏 し ょ う 性	適・否	2 0	(A) 否なら-5
士 気	適・否	2 0	(A) 否なら-5
安 全 性 (つまづき、転倒、 危険ラインオーバー) 各 1 回につき 2 点減点する。	正の字でチェック	チェック×2 (A)	2 0 - (A) =
要 領 遵 守 度 (行動、操法の不確実) 各 1 回につき 2 点減点する。	正の字でチェック	チェック×2 (A)	2 0 - (A) =
合 計			

屋内消火栓操法の部計時審査表

(組 コース)

隊 名		審 査 員	
--------	--	-------------	--

計 時 員 1	計 時 員 2	平 均 タ イ ム

減 点

(基準タイムの経過1秒につき1点減点)

- ★ スタートの合図（ピストル）から標的が転倒するまでのタイムを記入してください。
- ★ 小数点第2位まで記入してください。
- ★ 平均タイムは、集計係が記入します。